

## 完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度（5 年間）												
事業実施地区名 （都道府県名）	（とねじょうりゅう） 利根上流森林計画区 （群馬県）	事業実施主体	関東森林管理局 利根 沼田 森林管理署												
完了後経過年数	4 年	管理主体	利根沼田森林管理署												
事業の概要・目的	<p>本事業は、群馬県の北部に位置する沼田市、みなかみ町、片品村、川場村、昭和村の 1 市 1 町 3 村に所在する約 9 万 7 千 ha の国有林野を対象としており、本計画区の国有林の 76% が水源かん養または土砂流出防備等の保安林に指定されている。</p> <p>本計画区は、都心部に比較的近い位置にありながら天然林が多く、広範囲にブナ林が生育しているなど豊かな自然環境を有している。また、上信越高原、日光、尾瀬などの国立公園や自然環境保全地域に指定されているほか、レクリエーションの森に選定しており、自然環境の保全と森林とのふれあいの場の提供が期待されている。</p> <p>森林の現況は、気象、地況、土壌等の自然に恵まれた地域を中心にスギ・ヒノキを主とした人工林が分布しており、計画区内の人工林率は 31% となっている。また、人工林の齢級構成は 9 齢級以上の森林が 80% を占めており、県内外の大型製材工場やバイオマス発電施設等への木材の安定供給が期待されているほか、保健・文化・教育的な利用の場の提供や良好な生活環境の保全等の機能の発揮等、森林の有する多面的機能の発揮に対する国民の期待がますます高まっている。</p> <p>本事業は、このような国民の期待の高まりに応え、森林の有する多面的機能の持続的な発揮を確保していくため、人工林資源の循環利用に必要な植栽等の更新作業、保育・間伐等の保育作業を実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網整備に取り組んだものである。</p> <p>・ 主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>283ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,539ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.2km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>7.6km</td> </tr> </table> <p>・ 総事業費 2,430,454 千円（税抜き 2,420,061 千円） （平成 27 年度の評価時点 2,596,333 千円（税抜き 2,404,012 千円））</p>			森林整備	更新面積	283ha		保育面積	2,539ha	路網整備	開設延長	2.2km		改良延長	7.6km
森林整備	更新面積	283ha													
	保育面積	2,539ha													
路網整備	開設延長	2.2km													
	改良延長	7.6km													

<p>① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化</p>	<p>令和7年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総費用及び総便益と完了後の評価で算出した総費用及び総便益との差は、費用便益分析に使用する単価の変更や厳しい現地条件により整備費及び保育費等が増嵩したこと、当初の計画量より事業量が減少したこと等による。</p> <p>総便益 (B) 11,562,273 千円 (平成27年度の評価時点：12,878,060 千円※)      総費用 (C) 5,135,277 千円 (平成27年度の評価時点：3,228,154 千円※)      分析結果 (B/C) 2.25 (平成27年度の評価時点：3.99)</p>
<p>② 事業効果の発現状況</p>	<p>森林整備の実施により森林が適正に整備され、水源涵養<sup>かん</sup>や山地保全といった森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>路網整備の実施により、これまで路網が未整備であったため木材の搬出が困難であった森林において高性能林業機械の利用と列状間伐による施業が定着し、作業効率の向上や事業コストの縮減が図られた。</p> <p>また、本事業の実施を通じて生産された木材を活用し安定供給に努めたことにより、地域林業の振興に貢献するとともに農山村における雇用の場を提供しており、地域の社会経済の発展に貢献した。</p>
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<p>整備した森林は、継続して適切に管理しており、良好な管理状況にある。</p> <p>整備した路網は、職員による日常の巡視・点検及び台風の通過後の臨時点検等を通じて危険箇所の発生の有無等の状況確認や修繕等を行っており、良好に維持管理されている。</p>
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<p>本事業の実施により、良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材等の林産物の安定供給、地球温暖化防止等、森林の有する多面的機能が発揮されている。</p> <p>また、周囲の森林と調和した適切な森林施業は、自然景観の保持に役立ち、行楽やスポーツの場としても良好な森林環境を形成しており、保健・文化機能を充実させている。</p>
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>群馬県内の林業従事者は減少傾向にあり、今後は高齢の林業事業者の退職等による減少が懸念されている。このため、施業の集約化、若手林業従事者の育成、意欲と能力のある林業経営者の育成、木材の安定供給の確保等を進めていくことが必要となっており、生産性の向上や労働安全対策の強化に向け、スマート林業の推進等、労働環境の改善にも取り組む必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、植栽や保育間伐等の森林整備事業を引き続き実施するとともに、事業の実施にあたり更なる作業効率の向上と低コスト化・省力化を図る必要がある。</p> <p>また、利根沼田地域においてシカ被害が拡大しており、特に昭和村では被害が深刻化し再生林の大きな障害となっている。このため、低コストで効果の高い防除対策の確立のほか、民有林や地元猟友会等と連携した捕獲等による積極的な被</p>

	<p>害対策を講じていく必要がある。</p> <p>地元の意見：</p> <p>(群馬県)</p> <p>森林が適正に整備されたことにより、森林の有する多面的機能の維持増進が図られていると認識している。</p> <p>引き続き、計画的かつ適正な森林整備を推進していただくとともに、皆伐再造林を推進していく上での獣害対策等については、本県でも重要と位置づけていることから、作業効率の向上と低コスト化について情報共有をお願いしたい。</p> <p>(沼田市)</p> <p>森林が有する多面的機能を持続的に発揮させていくためには、利根沼田管内の関係機関が連携を強化し、資源循環や鳥獣の個体管理等に関する共通認識のもとで一体的に取り組むことにより、地域の環境保全に努めていくことが重要であると考えます。</p> <p>(みなかみ町)</p> <p>意見なし。</p> <p>(片品村)</p> <p>事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られていることから、今後も事業の継続実施をお願いしたい。</p> <p>地域の森林・林業の振興のため、事業に関する情報提供をお願いしたい。</p> <p>(川場村)</p> <p>意見なし。</p> <p>(昭和村)</p> <p>今後も有害鳥獣捕獲事業の継続をお願いしたい。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業は、人工林資源の循環利用に必要な植栽等の更新作業、間伐等の保育作業を実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網整備に取り組んでおり、水源涵養や国土保全、木材等の林産物の安定供給、地球温暖化防止等、森林の有する様々な多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。</p> <p>また、今後も地域特性、社会情勢及び事業の評価を踏まえ、引き続き森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、シカ被害対策に向けた低コストで効果の高い防除対策の確立のほか、地元猟友会等と連携した捕獲等による被害対策に一層推進して取り組んでいくことが望まれる。</p>

<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 本事業は、森林の有する公益的機能の持続的な発揮に資する事業であり、木材の安定供給による地域の林業・木材産業の振興や自然環境の保全、森林とのふれあいの場の提供による地域振興にも寄与しているため事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性： 森林整備については、列状間伐の実施や下刈回数の削減、高性能林業機械導入による低コストで効率的な作業システムの定着により事業コストの縮減を図ってきている。  また、路網整備においても、未整備であったため木材の搬出が困難であった箇所には林業専用道を新設・改良したこと等による森林整備事業箇所へのアクセスの向上とコスト縮減が図られており、費用便益分析結果からも事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性： 密度調整が必要な林分での間伐等の実施やシカ被害が深刻な地域におけるシカ被害対策を講ずることにより森林の有する公益的機能が持続的に発揮されている。  また、整備した路網を活用した森林資源の循環利用が図られており、引き続きその効果が発現されると見込まれることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul>
-------------	---

※平成 27 年度の評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：群馬県

施行箇所：利根上流森林計画区(利根沼田森林管理署)

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	4,279,753	
	流域貯水便益	612,071	
	水質浄化便益	1,591,538	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,863,514	
環境保全便益	炭素固定便益	670,296	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	179,242	
	木材利用増進便益	3,006	
	木材生産確保・増進便益	1,316,188	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	46,665	
総 便 益 (B)		11,562,273	
総 費 用 (C)		5,135,277	
費用便益比	$B \div C = \frac{11,562,273}{5,135,277} = 2.25$		

# 森林環境保全整備事業 利根上流森林計画区 事業概要図



植付 (川場谷国有林)



下刈 (川場谷国有林)



間伐 (糸之瀬赤城山国有林)



路網開設 (谷山林業専用道)

